

# Q&A

## 一般質問

若杉輝久議員  
公明党議員会



マイナンバーカードの普及のための取り組みは

**Q** 本年9月からマイナポイント制度が期間限定で導入されることから、マイナンバーカードのさらなる普及を促進するため、イベントを開催してはどうか。

**A** マイナンバーカードの普及促進については、市民課窓口での勸奨や新成人へのPR、また、昨年12月には楽市楽座において啓発リーフレットの配布を行ったところですが、本年9月から予定されているマイナポイント事業を控え、マイナンバーカード普及のため、本市としてもさまざまな機会を通じて周知啓発を行っていききたいと考えています。  
イベント等の開催も効果的な周知方法の一つであると思いますので、先進事例も参考にしながら普及率向上に努めていきたいと思えます。  
(副市長)

質問の主な項目  
・市長の政治姿勢について

災害時の外国人への情報伝達として「やさしい日本語」の普及を

**Q** 災害発生時に日本語を十分に理解できず、必要な情報を得られない外国人に対して、「やさしい日本語」の普及と避難所運営マニュアルへの掲載を。

**A** 本市では、香川県国際課、香川県国際交流協会と連携して、本年2月に開催しました、在住外国人向けの防災訓練と支援者向けの多言語情報伝達訓練において、「やさしい日本語」を用いたコミュニケーションの研修を行いました。また、市民への普及のため、坂出市国際交流協会では、今後、市民等を対象とした「やさしい日本語」に関する講座の開催を検討していきます。  
また、坂出市避難所運営マニュアルにおいては、現在、「情報提供は、要配慮者にも内容が把握しやすいよう工夫しましょう」と記載し、イラストで簡単な日本語やふりがなを記載する情報提供方法を例示したものを掲載しています。  
(総務部長)

市役所・市立病院等に、  
**41名の新規職員が**  
採用されました！

令和2年4月1日付で、これからの市政運営を担うフレッシュな41名の新規職員が採用されました。

4月2日から3日にかけての研修では、議会についても学び、議場で一般質問の疑似体験を行いました。

